

会 議 録

1 会議名

令和2年度第3回保倉区地域協議会

2 議題

【報告事項】

- ・旧第2クリーンセンターの解体工事について（公開）
- ・「公の施設の再配置計画」の取組について（公開）

3 開催日時

令和2年7月8日（水）午後6時00分から午後6時51分

4 開催場所

上越市立保倉地区公民館

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 丸山隆夫（会長）、池田つえ子（副会長）、今井二三夫、梅澤恭子、荻原輝義、笠原純一、河瀬青志、佐野仁彦、佐野 宏、平原 保、宮崎邦夫、山本 均
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：中村センター長、小池係長、霜越会計年度任用職員
生活環境課：瀧本課長、久野副課長、星野係長
行政改革推進課：星野参事、内海主任

8 発言の内容

【中村センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【丸山会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：梅澤委員、河瀬委員に依頼

議題【報告事項】旧第2クリーンセンターの解体工事について、担当課へ説明を求める。

【生活環境課：瀧本課長】

- ・挨拶
- ・資料No.1「旧第2クリーンセンターの解体工事について」に基づき説明

【丸山会長】

説明に対して、質疑を求める。

【荻原委員】

旧第1クリーンセンターの跡地について、改めて別のものを建てるのか、現状のままなのかをお聞きしたい。

【生活環境課：瀧本課長】

旧第2クリーンセンターの跡地は一旦更地にした後、市内各地に分散保管している資源物や処理困難物を一時置きする場所があるが、それを集約して一括管理するためのストックヤードを当地につくる計画である。

【生活環境課：久野副課長】

補足説明させていただく。今ほど旧第1クリーンセンターの跡地の質問だと思うが、旧第1クリーンセンターの跡地の活用方法はまだ決定していない状態である。今後、市で協議をしながら活用方法を検討していきたい。旧第2クリーンセンターの跡地については、今ほど瀧本課長が申し上げたとおりストックヤードを計画している。

【丸山会長】

他に質疑等はないため終了とする。

— 生活環境課 退室 —

次に【報告事項】公の施設の配置計画の取組について、担当課へ説明を求める。

【行政改革推進課：星野参事】

- ・挨拶

公の施設の再配置計画の取組についてだが、昨年の10月から11月にかけて、全28の地域協議会にお伺いして説明したが、この度、委員改選が行われたことから、改めて説明にお伺いをさせていただいた。

・資料No.2 「『公の施設の再配置計画』の取組について」に基づき説明

【丸山会長】

説明に対して質疑を求める。

【佐野宏委員】

公の施設の再配置計画ということで、非常に良いことだと思う。ただ、気になるのは「末永く利用していただくため適切に維持管理、長寿命化を図る」という文言があるが、先ほどのクリーンセンターの件で、旧第2クリーンセンターは何年間で除却に至ったのか。長寿命化を図る公の施設を造る場合、長寿命化を図るための計画等は、どこまで皆さんで考えているのか。

そして、説明を聞いていて感心したのは地域の人に相談しながら進めるということである。人口が減るから公の施設を減らさなければというのは誰でも分かるが、それに伴い空き家等が増えている。そういう施設を市としてはどのように考えているのか。

今、九州で大雨の被害が出ているが、公の施設と併用した中で、危険箇所は担当課と行政改革推進課で協議し合っで見直すことは考えているのか。公の施設を造る時に安全が確保されないところに文化は生まれないと思っている。そのため、建てる場所が安全であるかの確保がされない限り、なかなか難しいのではないかと思う。その辺を分かる範囲で説明願いたい。

【行政改革推進課：星野参事】

まず長寿命化だが、今回公の施設の再配置計画の策定を進めていくに当たり、今ほど説明したとおり、その施設について市として関与する必要があるかどうかという視点を始め、施設の老朽化の程度、類似する施設の配置状況や利用状況等から総合的に勘案した上で、今後将来に亘って必要と判断した施設については、長寿命化を図り施設を維持管理していく。今回の検討の結果、現状維持とした施設については長寿命化の計画もあわせて策定し維持管理を行っていく。

次に空き家についてだが、例えば施設を廃止して、その場所を有効活用することもあるが、全く使わない施設については、除却、更地にすることもある。そこは担当課において有効利用も含めて検討を進めている。公の施設ではない空き家については、担当課や関係課において、有効活用なのか、除却なのかを検討している。

次に安全の確保や危険リスクだが、当然のことながら新たに施設を整備するということがなれば、安全・安心を確保した上で整備をするということが大前提になる。

【行政改革推進課：内海主任】

インフラや公の施設について、国において安全安心のための点検を行うことなどを盛り込んだ整備計画や長寿命化計画を策定する方針が決まり、平成26年の国の要請に基づき、県、市町村においても長寿命化計画を策定してきた。公の施設に関しては、資料のように進めていくが、インフラについては、別に整備計画や長寿命化計画を定めており、計画に基づいて日々安全管理を行っている。クリーンセンターについても計画を定めている。

【丸山会長】

旧保倉地区公民館について、ずっと前から解体をするという話だが、未だに存在している。これはどこの担当か。

【行政改革推進課：星野参事】

旧保倉地区公民館については教育委員会社会教育課である。

【丸山会長】

承知した。他にあるか。

【荻原委員】

要望だが、現在要するに財源不足なのだと思う。財源不足だからと言って税金を上げるのは勘弁していただきたい。そのためには職員の方々はいろいろな努力も必要だし、いらぬものを削るというのも出てくると思うが、我々のような退職者だと足りないから増税と言われても生活が大変なので上げないでいただきたい。

【行政改革推進課：星野参事】

要望ということだが、先ほど説明したとおり、市の貯金を崩しながら収支均衡を図っている中で令和4年までは、その貯金を崩しながら収入不足を補うが、令和5年度以降についても、まだ目途が立っていない。財源不足にならないためにも施設もそうだが、相当数の事業もある中で、見直しをすべきもの、廃止も含めて行政改革において下支えするための取組みを進めているということをご理解いただきたい。

【佐野宏委員】

廃止等々が予定されているが、それを実施した場合、どれぐらいのお金が削減できるのか、概算で良いのでお聞きしたい。削減できれば助かることもあるが、むやみに減らすのではなく、減らしたからこういうメリットで、こういうふうに行くという試算があってこの工程表は作成されているのか。

【行政改革推進課：星野参事】

具体的に廃止をしたから、そこでいくら削減できるといった数字は持ち合わせていない。金額的なこともそうだが、どれだけ施設の廃止をするのかという数ありきではなくて、本当に必要な施設かどうか、将来に向けて残していくべき施設なのかどうかを総合的な視点から判断をさせていただきたいと思っており、皆さんと協議、意見をお伺いしながら進めていきたいと考えている。

【佐野宏委員】

では、計画立案中と理解して良いのか。

【行政改革推進課：星野参事】

そうである。現在、地域協議会を回りご意見をお聞きし、ご理解をいただきながら、計画を進めている。

【佐野宏委員】

では、先ほど言ったように、市としてはこれだけのメリットがある。最後は金である。上越市にお金がないというのであれば「こうすればこうなる。だから、こういう計画でしたい」とか、そこをはっきりしてほしい。ただ「人口が少なくなったから廃止する」だけでは駄目である。だから、その辺を上手に細分化した中で計画を立てて、地域の皆さんの意見だけは十分に聞いて進めてほしい。

【行政改革推進課：星野参事】

貴重なご意見として参考とさせていただき、他の地域の皆さんのご意見もお伺いしながら進めていきたい。

【丸山会長】

他にないか。

【笠原委員】

今の公の施設の再配置計画ということで、ご説明いただいているが、本当にこれからの課題であって、ここで市の皆さんにそれぞれ質問していてもやっぱりこれはという抜本的な計画はないのではないかと。

私自身も保倉で生活していて合併してもう何年も経つが、道路を走っていても末広小学校や小猿屋小学校が閉校になり、使われなくなった学校等がどういう形になっていくのかと思っている。こういった施設を市として取りまとめて7月から9月に計画的なものを提示していきたいという説明だったかと思うが、それでよろしいか。そうではない

と、資料に記載されているもの1つ取り上げても、そちらで「こういう計画である。ああいう計画だ」という話にはできないと思う。

【行政改革推進課：星野参事】

そのとおりである。令和2年7月から9月にかけて、皆様のご意見をお聴きしながら、計画を策定していきたいと考えている。

【笠原委員】

本日は、報告事項という形で聞いている分には良いが、「何か質問はないか」と聞かれても、何をしようとしているのかも分からないのに、何を質問して良いのかも分からない。そのため、7月から9月に行う計画が出来た時点で意見を求めてくれたほうが意見を言いやすいと思っている。

【行政改革推進課：星野参事】

具体的に計画を策定する前段で皆さんからご意見をいただきたいと思い報告させていただいた。市民の皆さんの意見を聴き、理解を得ながら進めていきたい。

【丸山会長】

まだまだ検討の余地があると思うが、結局は皆さんの意見を聴いて、それを挙げていただければ幸いかと思う。

他に意見はあるか。

【池田副会長】

九州のほうでは大雨の被害があり、どこの地域でも40年や50年に1回という災害が起きている。今のところ保倉区では、学校に住民の皆さんで避難しなければならないような災害はなかったと思うが、災害はいつ起きるか分からない。そうなった時に「人口が減少しているので、ここもなくしたほうが良い、あちらもなくしたほうが良い」となると、災害時に困ってしまうこともあるのではないか。私たちは今のところ、保倉小学校に区内の全住民が避難するようになっているが、そこには全員入れないと思う。その辺も考えていただき、削るところと残すところをしっかりと考えていただきたい。

【行政改革推進課：星野参事】

公の施設の中には避難所に指定をされている施設もあるので、当然そういった視点も含めて再配置や見直しを進めていく。

【丸山会長】

他に質疑等がないので、終了とする。

— 行政改革推進課 退室 —

次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

【小池係長】

- ・次回協議会の事務局案：8月21日（金）午後6時～

当初募集で提案されていた「保倉地区早朝ラジオ体操事業」について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業を中止するという申し出があったので報告させていただきます。

【丸山会長】

- ・次回協議会：8月21日（金）午後6時～
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。